

平成 28 年度 第 2 次補正予算に関する

要 望 書

平成 28 年 8 月

北海道経済連合会

平成 28 年度 第 2 次補正予算の編成に関する要望

この度の参議院選挙における与党の勝利により、アベノミクスは国民の信任を得た。安倍政権には、安定した政権基盤の下、アベノミクスのエンジンをフル稼働させ、デフレ脱却を確実なものにすると共に、地方経済の底上げに尽力いただきたい。

世界経済は今、英国のEU離脱問題による金融市場の混乱や中国経済の減速等により、先行きの不透明感が漂う。このような中、回り始めた景気の好循環の果実を北海道の隅々にまで行き渡らせ、そして地方に若者が住み、地域資源を活かした多様な社会の形成に向けた基盤づくりのため、早期に補正予算を編成し、実行に移すことが重要となる。

北海道は、広大な大地と冷涼な気候風土から、我が国を代表する食料供給基地であり、世界自然遺産・知床に代表される、美しく、自然豊かな観光資源が多数ある。また、我が国は大規模な自然災害の発生が懸念される中、北海道は首都圏との同時被災の可能性が極めて低いことから企業のリスク分散の適地であり、産業活動のバックアップ拠点として優れた立地環境を持つ。このため、当会が平成 29 年度の国の施策及び予算に関する要望書の項目の中でもとりわけ下記項目を、今後編成される 28 年度第 2 次補正予算において前倒しで実施していただきたい。

[重点項目]

1. 攻めの農業、農林水産物・食品の輸出額 1 兆円目標の早期実現に関するもの

- 1-1. 道産生産品の輸出拡大に繋がる国際航空貨物取扱施設(SIACT[※])の機能強化に向けた支援
※SIACT:札幌国際エアカーゴターミナル株式会社
- 1-2. 水産物の安定供給・輸出拡大に向けた漁港における衛生管理施設の整備推進
- 1-3. 農業生産基盤整備の推進
- 1-4. TPP対策の着実な実施
- 1-5. スマート農業の確立に向けた研究開発への支援(無人トラクター等の自動走行)

2. 外国人観光客 4000 万人時代の早期達成に関するもの

- 2-1. 新千歳空港の機能強化(CIQ ブースの更なる増加)
- 2-2. 道内港湾の整備(クルーズ船の受入環境の向上に向けた港湾の整備)
- 2-3. 外国人観光客の受入体制の整備(新幹線や空港と連動した二次交通の充実に向けた支援)

3. ものづくり産業、企業立地に関するもの

- 3-1. 中小企業の生産性向上および産業創出への支援(「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の当初予算における予算の拡充)
- 3-2. 企業立地の促進のための支援措置の拡充(「地方拠点強化税制」の要件緩和)

4. 社会資本の形成、国土強靱化に対応に関するもの

- 4-1. 北海道の高規格幹線道路等の整備促進
- 4-2. 北海道新幹線の着実な整備(2030 年度末の開業とされる札幌延伸の早期実現)
- 4-3. 社会資本の老朽化対策他の適切な維持管理(防災拠点の耐震化)

平成 28 年 8 月

北海道経済連合会会長 高橋 賢友





北海道経済連合会

(略称 : 道経連)

〒060-0001

札幌市中央区北1条西3丁目3札幌 MNビル

TEL 011-221-6166

FAX 011-221-3608